

『PCA 固定資産DX』

Ver.1.0 Rev.4.01 プログラムでの主な機能強化・仕様変更点

KDH201131

主な機能強化・仕様変更点は以下の通りです。
操作等の詳細については、オンラインヘルプ、またはPDFマニュアルをご覧ください。

《全体》

◇令和2年度税制改正対応

- ・認定特定高度情報通信技術活用設備を取得した場合の特別償却又は法人税額の特別控除制度の創設に対応しました。
- ・別表十六(一)、(二)、(四)、(七):「御注意」欄の記載内容の変更に対応しました。

《新機能》

◇資産配賦パターンの登録

資産に資産配賦パターンを設定することで、資産の配賦情報を資産配賦パターンにより一元管理できるようになりました。

- ・「資産」に「資産配賦パターンの登録」処理を追加しました。
- ・資産の登録処理や配賦情報の登録処理では、以下の機能が追加されました。
 - ・資産配賦パターンの設定
 - ・検索条件で資産配賦パターンの指定
- ・配賦情報の登録処理では、一覧画面のリスト項目に資産配賦パターンが追加されました。
- ・データの保守では、複数資産に対して一括で資産配賦パターンを設定・解除できます。
- ・資産確認リストでは以下の機能が追加されました。
 - ・資産配賦パターンの印刷
 - ・資産の出力時において、条件指示に資産配賦パターンを指定可能

《ファイル》

◇データの保守

- ・複数の資産に対し、場所、部門の移動を一括で登録する機能を追加しました。
- ・複数の資産に対し、増加事由を一括で削除できるようになりました。

《資産》

◇配賦情報の登録

- ・コードダイレクト入力に対応しました。

◇資産確認リスト

- ・資産の出力時に、新規作成・更新した日時・ユーザーで絞り込みできるようになりました。

《申告書》

◇償却資産申告書

- ・出力するかどうかを条件指定できる項目が増えました。

《台帳・一覧》

◇固定資産台帳(一)

- ・少額資産の取得価額を当期償却額として出力するかどうか、条件指定できるようになりました。

◇償却資産台帳

- ・除却資産が出力できるようになりました。

《随時》

◇会計連動

- ・建設業会計DXシリーズ・個別原価DXシリーズとの会計連動に対応しました。

◇仕訳データの作成

- ・集約方法が連動科目基準、固定資産科目基準の場合は、貸借それぞれで仕訳のカテゴリとマスターのコード順で、仕訳データを作成できるようになりました。

互換性に関する変更点

◇データ領域の更新について

データ領域のバージョンを「4.29」に更新しました。

- ・資産(更新情報)
- ・資産配賦パターン(詳細)
- ・資産配賦パターン
- ・資産配賦パターン(行)

下記のデータを追加しました。(“hyperシリーズ”の場合のみ使用可能です。)

- ・グループ企業集計条件指示パターン
- ・グループ企業台帳パターン
- ・グループ企業台帳パターンカラム
- ・グループ企業台帳パターンレイアウト
- ・グループ企業共通マスターデータ
- ・グループ企業マスター関連付け
- ・グループ企業共通設定
- ・グループ企業集計用グループ
- ・グループ企業集計用グループ内容(集計データ領域)
- ・グループ企業集計用グループ内容(集計用グループ)
- ・集計用グループ関連の操作ログ
- ・集計用グループ関連の操作ログ詳細

下記のデータ構造を拡張しました。

- ・資産(固定)
- ・資産(減価償却)
- ・税区分
- ・会計連動設定
- ・一括償却資産科目コード設定(会計連動用)
- ・科目コード設定(会計連動用)
- ・科目(会計連動用)
- ・工事/プロジェクト(会計連動用)
- ・工種/工程(会計連動用)

◇APIの変更について

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- ・資産(バージョン「105」)
- ・資産の検索条件(バージョン「102」)
- ・仕訳伝票データ(バージョン「2」)
- ・税区分マスター(バージョン「102」)
- ・会計連動設定(バージョン「2」)

APIで操作できるデータに、以下を追加しました。

- ・資産配賦パターン(バージョン「1」)

◇汎用データの変更について

以下を追加しました。

- ・資産配賦パターン

以下を追加しました。("hyperシリーズ"の場合のみ使用可能です。)

- ・グループ固定資産台帳(一)

以下のデータ構造を拡張したため、バージョンを更新しました。

- ・一般資産(バージョン「9」)
- ・リース資産(バージョン「9」)
- ・一括償却資産(バージョン「5」)